なすしおばら 社協だより

平成30年10月20日発行
第72号

こころまる ふれあいの旅!!

9月9日～10日に行われた塩原温泉まつりに行ってきたよ!
ふれあいの森の利用者のみんなと門前地区の山車を引っ張ってきたんだ。
とても盛り上がって楽しかったよ♪♪

市内の音訳ボランティアのみなさまの協力を得て、目の不自由な人のために音訳版社協だよりを発行しています。
詳しくは社協総務課までご連絡ください。

那須塩原市社協
西日本豪雨災害(平成30年７月豪雨災害)の被災地を支援
～広島県呉市災害ボランティアセンターの運営を支援して～

平成30年６月下旬から７月上旬にかけて、西日本を中心に降り続いた記録的な大雨により、各地では河川の氾濫や浸水害、土砂災害など甚大な災害が発生しました。この災害で亡くなられたみなさまのご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

那須塩原市社会福祉協議会では、８月４日(土)から10日(金)までの１週間、被災地の災害ボランティアセンターの運営支援として、職員１名を現地に派遣しましたので、その状況を報告します。

被災地の様子

呉市安浦町の状況

『どうにもならない。今日はボランティアさんたちはうちに来てくれるんですか?』
『隣と２軒隣の家の土砂出しが手付かずになっている』
『ご家族が亡くなって、まだ気持ちの整理ができていない方がいる』

私が派遣された広島県呉市災害ボランティアセンター安浦サテライトには、豪雨災害により被害を受けた方たちの切羽詰まった声が届いていました。

安浦町は海と山に囲まれた地域で、野呂川ダムがあふれて下流の川が氾濫し町は水に埋もれ、山は土砂崩れにより建物が倒壊するなど大きな被害がありました。全国からのボランティアが平日90～130名、土日300～600名ほど来ており、猛暑の中、泥だし（床上・床下）や清掃などの活動をしていました。しかし、人手が十分とは言えず、まだまだ手つかずの家も多く、避難先から昼間自宅に戻って片付けをしている方も多く見られました。

災害ボランティアセンターの様子

ボランティアによる活動の様子

そんな中であっても、地域のつながりの大切さと心強さを感じることがありました。

地元の自治会長などが毎日ボランティアセンターに足を運び、それぞれの地域で誰が困っていて、どこに支援が必要なのかの情報を伝えたり、ボランティアを活動場所まで送迎したり、活動内容を説明したりとボランティアセンターの運営も手伝っていました。中には「床下浸水なんてたいしたことない。もっと大変な所があるから自分の家は後でいい。」と話していた自治会長もいました。

そんな中でも、災害後１ヶ月以上が経った今では、被害に遭われた方は心も体も限界となり、「助けて」や「手伝って欲しい」と自分からは言い出せない方もまだまだいると思います。たとえ土砂出しが終わったとしてもすぐに元の生活に戻るわけではなく、支援が必要な状況は今も続いていますが、報道は日に日に少なくなっています。どうか忘れないでほしい。私は、今後もみなさまからの継続したご支援やご協力をお願いしたいと思います。

特別企画 ～大学生から見た社協の疑問～

那須塩原市社会福祉協議会では、社会福祉士などの専門的な資格の取得を目指している大学生を夏休みの期間中に実習生として受け入れています。今回は、その実習生からみた「社協の疑問」をテーマに国際医療福祉大学の実習生と記事を協働企画しました。

社協ってどんなとこ?

私は国際医療福祉大学３年の実習生です。実習に来る前は、社会福祉協議会が具体的に何をしているところかわかりませんでした。そこで今回、私が実習の中で学んだことをもっと多くの方に知っていただきたいと思い、社会福祉協議会の職員の方々に取材をしてみました！

社協では、地域の方の悩みにどう対応しているのか？

住民A

１人暮らしの高齢者や障がい者など、心配な人が増えているなぁ。みんなが安心して生活できる地域を作れたらなぁ。

社協は、地域に住む心配な高齢者や障がい者に、住民同士で声掛けや訪問、ゴミ出しや雪かきなどのちょっとした手伝いなどを行うお互い様の活動を広める取り組みをしています。その他にも、ボランティアの方々が参加し、１人暮らしの高齢者の方に見守りを兼ねた給食・配食サービスなどの活動なども行っています。

住民B

自分にできる事で人の役に立ちたい。ボランティアをしたいけど…どうすればいいんだろう。

社協ではボランティアセンターを設置しており、ボランティア活動の登録、紹介を通し、ボランティアをしたい人、してほしい人を「結ぶ」役割を担っています。その他にも福祉体験講座などの福祉教育、ボランティアに関する情報の発信、ボランティアへの助成金や備品の貸し出しなど、地域の方のボランティア活動を応援しています。

住民C

ずっと住み慣れた家で暮らしていきたい。でも、病気や障がいによって支援が必要になったら誰に相談すればいいんだろう。

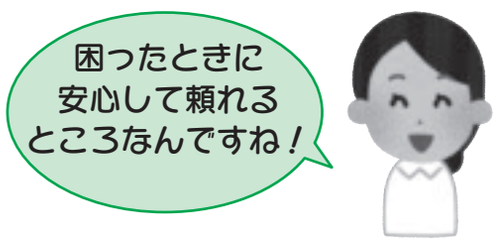
社協には、介護の相談に応じるケアマネジャーや、障がいに関する相談に応じる相談支援専門員がおり、「ホームヘルパーなどの介護サービスを利用したい」「外出したいが障がいがあるためどうすればいいか分からない」などの相談に応じています。

住民D

生活が苦しい…借金もあるし、どうしたらいいか分からない。こんな話周りの人には相談できないなぁ。

社協では、生活に困窮している方々の相談に応じ、解決に向けて一緒に考える「生活困窮者自立支援事業」を行っています。また、弁護士による「無料法律相談」や相談員が悩みごと、困りごとの相談に応じる「心配ごと相談」も実施しています。

社会福祉協議会は地域住民をはじめ、ボランティア･社会福祉関係者や行政機関と協力し、「安心して暮らせる福祉のまちづくり」を進めるために地域のさまざまな声に寄り添い活動しています。



ボランティアセンターだより

10月１日に
社会福祉協議会ボランティアセンター本所が
オープンしました!!

平成17年の市町社協の合併以来、那須塩原市社会福祉協議会ボランティアセンターは、黒磯支所が中心となって運営してきました。

これまで以上に「地域に開かれた存在」として相談機能や支援につなげる体制の強化を目指そうと、平成30年10月１日に社協本所（健康長寿センター内）に新たにボランティアセンターを開設しました。

黒磯支所のボランティアセンターはこれまでどおり業務を行っていきますので、10月からは、ボランティアセンター本所とボランティアセンター黒磯がより「地域に開かれた存在」として、ボランティアの育成、団体の活動支援、情報の提供などを充実させていきます。

ぜひ、お近くのボランティアセンターへお越しください。

みんなでボランティア活動を盛り上げていきましょう！

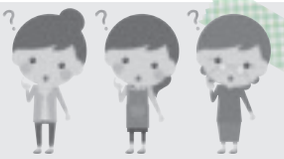
【ボランティアセンター本所】

住　所　那須塩原市南郷屋５－163
　　健康長寿センター内
電　話　0287－47－6700
ＦＡＸ　0287－47－6690
E-mail　v.center@ns-shakyou.jp
開館時間　９時～17時
休館日　土、日、祝日、年末年始

【ボランティアセンター黒磯】

住　所　那須塩原市桜町１－５
　　いきいきふれあいセンター内
電　話　0287－73－0073
ＦＡＸ　0287－73－0073
E-mail　k.vcenter@ns-shakyou.jp
開館時間　９時～17時
休館日　土、日、祝日、年末年始

みんなの疑問？



Q. ボランティアセンターってどんなところ？

A. 皆さんのボランティア活動を応援しているところです。

＜むすぶ＞
『ボランティアをしたい人』と『ボランティアをしてほしい人』をむすびます。
ボランティアの登録、ボランティアの相談、ボランティア活動の紹介など

＜ささえる＞
ボランティア活動をサポートします。
ボランティア活動や団体の運営に関する相談、助成金や備品貸し出し、ボランティア保険の取り扱いなど

＜まなぶ＞
ボランティアに関する講座や福祉体験講座などの学びの場を提供します。
各種ボランティア講座の開催、地域や学校での福祉体験講座、福祉体験用具の貸し出しなど

＜ひろめる＞
ボランティアに関する情報の発信を行っています。
ボランティア情報誌の発行、ボランティアに関する情報や助成金情報の発信など

お気軽にお越しください。

「義援金」へのご協力ありがとうございます

平成30年４月１日～８月31日現在で下記のとおり義援金が寄せられました。（敬称略、順不同）

これらの義援金は、日本赤十字社を通じて被災者のみなさまへと届けられます。これからも災害義援金の趣旨をご理解の上、みなさまからのご協力よろしくお願いします。

なお、受付期間は延長する場合があります。

平成30年大阪府北部地震災害義援金
（平成30年９月28日をもって終了）

名　前	金　額
㈲橋本家畜診療所	50,000円
本会募金箱（8／31〆）	8,784円
合計（8／31時点）	58,784円

平成29年7月5日からの大雨災害義援金
（平成31年３月29日まで受付）

名　前	金　額
匿名（1件）	3,329円
本会募金箱（8／31〆）	4,809円
合計（8／31時点）	8,138円

東日本大震災義援金
（平成31年3月31日まで受付）

名　前	金　額
匿名（1件）	3,329円
本会募金箱（8／31〆）	4,844円
合計（8／31時点）	8,173円

ご協力、ありがとうございます

平成30年7月豪雨災害義援金
（平成30年12月31日まで受付）

名　前	金　額
東遅沢ふれあい即売所	10,000円
塩原認定こども園職員一同	6,313円
シルバー大学オカリナ愛好会ギャラクシー	10,000円
東三島自治会	100,000円
西那須野ふれあいまつり街頭募金	25,503円
㈲橋本家畜診療所	50,000円
東那須野地区婦人会	10,000円
那須塩原市職員労働組合公益法人評議会	20,306円
那須塩原市総合防災訓練（募金箱）	2,702円
那須塩原市西那須野松友会	20,000円
匿名（2件）	12,000円
本会募金箱（8／31〆）	31,555円
合計（8／31時点）	298,379円

平成28年熊本地震災害義援金
（平成31年３月31日まで受付）

名　前	金　額
匿名（1件）	3,328円
本会募金箱（8／31〆）	6,707円
合計（8／31時点）	10,035円

あなたのまちの 福祉協力店

※福祉協力店とは…地域での見守りや困りごとへのサポート体制をお互いさまの支援の仕組みとして、誰にでもやさしい地域福祉活動の拠点をつくるために、地域福祉活動を積極的に推進している事業所等を福祉協力店として登録する制度です。

昨年度までに 84 事業所が登録しているよ。どのような福祉協力店があるのか、シリーズで紹介していくね！

シリーズ②

ぼくのおばあちゃんにしてあげたかったお葬式

なすの斎場グループ『なんでも屋なすの斎場』

シリーズ2回目は那須塩原市内にある「なすの斎場」を紹介します。

「なすの斎場」は平成26年5月に福祉協力店となり、社協が発行するポスターの掲示に協力していただいています。

表題の〝なんでも屋〟気になりますね。どのようなことなのか伺いました。

地域のためにできることは『なんでも』をモットーに地域貢献活動を展開しているそうです。

主な取り組み内容は、

①備品の貸し出し（テントや机、いす）。
②地域イベントへの参加。
③幼稚園バスの送り迎えの場として、駐車場の開放。
④会館の開放。
⑤子どもを守る場所　等です。

地域のみなさんに開放できる建物内のフロアーの様子（一部）

できる範囲で地域の方々と相談しながら地域貢献活動を行っています。

『なんでも屋』を始めたきっかけは、地域の方々の声だったそうです。「テントを借りたいけどどこも予約でいっぱいで…」という話を聴き、そこで、葬儀社だが一企業として地域に貢献していこうということで、『なんでも屋なすの斎場』が誕生し、今では福祉協力店として地域福祉活動の拠点になっています。

【代表の関口氏】

一般葬・家族葬	住所・TEL	家族葬・密葬	住所・TEL
なすの斎場上厚崎	那須塩原市上厚崎751－13 0287－60－0026	つむぎ黒磯	那須塩原市鍋掛1087－915 0120－33－8871
なすの斎場一区町	那須塩原市一区町315－187 0287－37－5050	つむぎ西那須野	那須塩原市石林1012－9 0120－33－8871
なすの斎場豊浦中町	那須塩原市豊浦中町100－14 0287－74－6164	なすの斎場 リビング黒磯	那須塩原市黒磯6－587 0120－33－8871
なすの斎場黒田原	那須町寺子丙663－92 0287－72－7755	お仏壇サロン 千の祈り	那須塩原市末広町77－3 0287－73－8411

赤い羽根共同募金運動が始まりました

運動期間　10月１日(月)～12月31日(月)

～赤い羽根募金活動は、 町の人の「やさしい気持ち」を集める活動です～

【赤い羽根共同募金とは】

赤い羽根共同募金は、市民自らの行動を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ」です。つまり、“那須塩原市”を良くする仕組みです。募金は各都道府県の市町村ごとに行われ、災害時などの例外を除き、集まった金額の約70％は集めた地域で使われます。

【主な使い道】

共同募金は、様々な地域の社会課題を解決するための活動や、その活動を行う団体に対して助成されたり、地域の福祉施設等の充実・整備のために使われています。具体的には…

・地域の社会福祉施設の設備や備品等の整備
・地域で活動する社会福祉団体やボランティア団体への助成金
・地域で行われるサロン活動やボランティア活動など、地域福祉推進事業への助成金
・大規模災害の被災地への義援金や、災害等準備金の積立

昨年度の街頭募金の様子

この他にも、多岐にわたる目的で使用されています。地域ごとの募金の詳しい使い道については、赤い羽根データベース「はねっと」http://hanett.akaihane.or.jp/で調べることができます。

たくさんの「やさしい気持ち」が共同募金を通じて地域の福祉を支えています。

まごころありがとうございます

平成30年７月１日～８月31日寄附分

次の方々からあたたかい寄付をいただきました。〔(　)の中は社協合併後、平成17年度からの通算回数、順不同、敬称略〕

福祉基金へ

株式会社クワバラ･パンぷキン	(14回目)	100,000円
榊原会館マルシェ	(1回目)	10,000円
相馬　タイ子	(17回目)	5,000円
歌の仲間　竹の子の会	(70回目)	5,000円
栃木県歌謡協会那須北支部	(14回目)	30,000円
県北歌謡ふれあいの会	(2回目)	20,000円
美容室　五番街	(49回目)	3,000円
混声合唱団　かでんつ	(11回目)	10,000円
匿名	6件	13,193円

交通遺児基金へ

那須塩原フライングディスク協会	(64回目)	1,500円
ブリヂストン労働組合	(29回目)	50,000円

善意銀行へ

ZAPP黒磯	(106回)	菓子類3箱
ZAPP西那須野	(93回)	菓子類20箱
ニラク大田原加治屋店	(179回)	菓子類8箱
ガイアらくらく館黒磯店	(36回)	菓子類4箱
夢屋西那須野店	(5回目)	菓子類4箱
薄井　久江	(1回目)	着物類一式
浅田　勝子	(21回目)	タオル30枚
株式会社おまかせオート石川	(1回目)	車いす2台
匿名	2件	文具一式 サンダル4足

株式会社おまかせオート石川 様

ブリヂストン労働組合 様

地域支え合い推進員 渡邊 は見た!!!

（塩原公民館区担当）

シリーズ③

このコーナーは、地域支え合い推進員が地域で取り組んでいる様々な活動を紹介します。

平成30年9月9日（日）に行われた古町4丁目自治会助け合いの会 結団式の様子

みなさんで結団宣言が行われました。

古町四丁目自治会は、塩原地区の中で高齢化率が最も高い自治会です。
高齢化が進んだことで、色々な面で不自由になってきていることもでてくるかと思います。そのような不自由さを皆で分かち合い助け合おうというのが、今回結団した古町四丁目自治会助け合いの会です。

塩原公民館区内で行われている生きがいサロンの様子（一部）

中塩原生きがいサロン

上塩原生きがいサロン

門前生きがいサロン

今後もあなたの地域の「宝物」となるような活動を見つけに行きます！

生活困・Q・係から…

Qっていうのは クエスチョンのことだよ!!

Vol.③

～生活困窮者自立支援に向けて～

誰にも相談できない…

今回は、生活に困っていることを誰にも相談できず、生活に行き詰ってしまった女性Bさん（24歳）のケースです。

その女性は、夕方5時すぎの薄暗い時間にか細い声で社協に電話をかけてきました。Bさんは光熱費の支払いができず、電気が止まり、ガスも近日中に止められてしまうため困っていると。私たちは詳しい話を聞くために、翌日、Bさんのアパートを訪問しました。Bさん宅に訪問すると、家の中は物が散乱しており、玄関近くにゴミ袋が何個も並べてありました。中に入るとBさんが今にも泣きだしそうな様子で出迎えてくれました。生活状況を確認すると、Bさんは東北の出身。夫と長女の3人暮らしです。長女を出産後、生活が苦しくなったと言います。夫は結婚前から仕事が定着しておらず、出産費用は消費者金融からお金を借りて支払いました。その後も収入が安定せず、クレジットカードを利用しながらの生活でした。しかし、気づいた時には、返済額が当初借りた額の倍以上になっており、借金の支払いに追われる日々が続いています。夫は相談には乗ってくれず、初めて来た土地で、知り合いは誰もいないため、相談できる人がいないと…。

私たちは、Bさんからこれまでの生活の状況を確認し、Bさんと今後の生活についての相談を進めました。まず、Bさんの夫にも今の状況を理解してもらうために面談を行い、借金問題の解決のため、弁護士事務所に同行しました。弁護士からは自己破産を勧められました。借金問題の解決の目途が立ったことで、安心した様子でした。これまで、1人で問題を抱えていたBさんは無気力な状態でしたが、現在は、仕事を見つけて働きたいと前向きです。

自分自身、家族のこと、地域で気になる人のこと、どんなことでも先ずはお話を聴かせてください。私たちと一緒に考えましょう。

発行　社会福祉法人 那須塩原市社会福祉協議会
住所　〒329-2705　那須塩原市南郷屋5丁目163番地（健康長寿センター内）
TEL 0287－37－5122　FAX 0287－36－8710
ホームページアドレス http://ns-shakyou.jp/　Eメールアドレス info@ns-shakyou.jp